

創業から製品リリースまで約4年 妥協を許さない研究活動が実を結ぶ
患者や医師に支えられ起業 自分でできる唾液1滴がん検査
 ～医療施設(医科・歯科)約1,000カ所の導入を達成するまでの軌跡～

唾液1滴でできるがんリスク検査『サリバチェッカー®』を提供する株式会社サリバテック(本社:山形県鶴岡市、代表取締役:砂村真琴、以下「当社」)。当社の代表取締役である砂村は、1983年から24年間にわたり、東北大学の第一線で、がん研究やがん治療に貢献してきた消化器外科医です。

「もっと早い段階で、がんを発見することができたら…」医師としての辛い経験と、一人でも多くの患者さんを救いたいという強い思いから、起業を決意。慶應義塾大学、東京医科大学と共同で研究を重ね、患者さんから採取した少量の唾液から、複数のがんのリスクがわかる『サリバチェッカー®』を開発しました。

本検査は2017年に発売されて以来、全国の医療施設(医科・歯科)約1,000カ所で導入され、約10,000件の販売実績を達成しました(2020年7月時点)。今年度の年間目標販売数は15,000件を見込んでおり、順調に成長を続けています。



当社代表で医師の砂村

■研究成果は実用化されて初めて世の中の役に立つ

砂村が起業することを考え始めたのは2013年です。それまでは大学で、臨床・教育・研究に没頭してきました。研究においては、がん細胞を壊す遺伝子治療や免疫治療、今流行の人工膵臓、インシュリンを出す細胞を作る再生医療など、さまざまな研究をしてきました。非常に恵まれた環境で最先端の研究もできたのですが、残念ながら研究成果を論文発表して終わることがほとんどでした。「それらを実用化できて初めて世の中の役に立つことができる」。そう考えていた砂村は、研究成果の実用化に向けて、自らが事業を始める必要があると感じ、世界に貢献できる何らかのものを作り上げることに集中しようと決めました。唾液中代謝物の人工知能(AI)解析によってがんを検出する方法を開発した、東京医科大学教授の杉本昌弘と共に、「最先端の医療技術、医療研究成果を世の中に出し、それを社会に還元する」を当社のミッションに掲げ、2013年12月3日に会社を設立しました。

■患者さんや医師たちの支援を受けて

砂村は練馬区にある大泉中央クリニックで院長をしているため、病院経営と会社経営の両立はなかなか大変なものがありますが、医療現場からは離れないという姿勢を貫いています。外来で診察をしたり、手術をしたりと、人生の大半を、がんの患者さんたちと向き合う時間にあててきました。たとえ起業したとしても、身近に患者さんたちを感じていたいと

『サリバチェッカー®』とは
 唾液中の代謝物質の濃度を高精度に分析し、がんで異常値を示す物質の濃度をAI等で解析することで、現在、がんにかかっているリスクを判定します。自宅で唾液を採取し、サリバテックへ郵送することで検査が完了しますので、からだに負担をかけることなく、一度の検査で複数のがん(男性は肺がん、大腸がん、膵臓がん、口腔がんの4種、女性は乳がんを加えた5種)それぞれのリスクを検査することが可能です。

1 検査を申し込む



2 キットが届く



3 だ液を送る



4 結果が届く



というのが砂村の希望です。実は、砂村が起業すると聞いた複数名の患者さん達が、各自 1,000 万円を出資してくれました。異なる事業の経営を両立させるには、時間的な拘束の問題がありましたが、大学の医師が応援という形でクリニックに診療に来てくれたり、一緒に唾液研究を行ってくれたりしています。大学で働いていた研究員たちも当社で働きたいと、何人か移ってきました。患者さんや大学、医師の力を借りながら、事業を進めることができています。

■全国の歯科医院や大手生命保険会社とのコラボが実現

事業を成長させるためには、どうしても増資が必要でしたが、資金調達と同じくらい悩んでいたのは、「我々のビジネスと相性の良い業界はどこなのか」ということでした。当然、病院に向けてのアプローチは行っており、徐々に導入件数は増えてきてはいましたが、唾液検査を全国的に普及させるためには積極的に他社と協業する必要があると考えていました。当社の唾液検査は 1 滴の唾液を採取して送り返すだけの簡単な検査のため、自宅などでも気軽に行うことができます。そこで人々にとって身近なコンビニエンスストアなども協業の候補にあがりましたが、人の命に係わるような検体を扱うという観点では相性が良くありません。最終的に、検体を扱って、コンビニのように全国をカバーしている歯科医院に協業の可能性を見出しました。

また、健康保険組合などのヘルスケア事業とも相性が良いことが分かりました。いくつかの生命保険会社とミーティングを重ねる中で、「一緒にヘルスケアビジネスを育てていきましょう」と、サポートして下さる大手生命保険会社や損害保険会社とも出会うことができ、現在では「企業の従業員などを対象としたがんの唾液検査サービス」の提供も始めています。



膵がん、肺がん、大腸がん、乳がん、
口腔がんのリスクを測定



少量の唾液を採取する

■心不全パンデミックに備えた検査キットの開発へ

「正確な測定業務と研究成果および臨床研究結果を大切にし、成果を社会に還元する」。当社の理念の 1 つです。その言葉どおり、2013 年に起業してから約 3 年間は、色々な測定を繰り返したり、検体数を増やしたり、データ解析の感度や精度を上げていくような研究をひたすら続けていました。納得がいかず、実用化を 1 年遅らせたこともあります。しかし、創業当初から明確なミッションがあり、アカデミック精神が強く、高い倫理性を持っていたからこそ、多くの患者さんや大学、医師たちから支援を受けることができたのだと思います。

日本循環器病学会からも発表されていますが、これからはより多くの高齢者が心不全で亡くなっていくことが考えられ、砂村自身も医療現場でそれらを実感しています。日本においては、恐らく心不全パンデミックが起こるでしょう。現在は、がんに特化した唾液検査を提供している当社ですが、今後は生活習慣病の検査キットの開発をしたいと考えており、すでに試験的な研究が始まっています。これからは積極的に最先端の医療技術、医療研究成果を世の中に出し、それを社会に還元していきたいと考えています。

【代表プロフィール】

氏名：砂村真琴

2007 年大泉中央クリニック院長に就任。2013 年株式会社サリバテック代表取締役 CEO、東京医科大学八王子医療センター兼任教授、慶應義塾大学医学部非常勤講師、東北大学医学部非常勤講師。

【社員から見た砂村の人柄】

- ・高い見識、強い使命感、誰をも魅了する人柄。
- ・困難な事態でも焦ることなく、力に変えて突き進んでいける。
- ・時々の状況に応じて、新しいことを学ぶ姿勢
- ・音楽や美術に関しても造詣が深い。
- ・どのような立場の人にも平等に接し気さくで人間味あふれる方
- ・がんを早期発見したいという思いが強く、信念があり、一貫している。
- ・時に厳しい面もあるが、社員の話にいつも耳を傾けてくれ、すぐに対応してもらえる。
- ・若いころはモテたんだろうなと思う。
- ・他者を心から敬い、時には公然と他者の特長を称賛する姿に感服しております。真の自信と包容力を備えた方なのだろうと思います。

■会社概要

株式会社サリバテック

- 【設立】 2013年12月3日
- 【代表】 代表取締役 砂村 眞琴
- 【住所】 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246 番地 2
- 【従業員】 20名(2020年5月現在)
- 【資本金】 4億9355万円
- 【事業内容】 ・スクリーニング検査事業
・新規スクリーニング開発事業（衛生検査所登録番号 庄内保健所 第6号）
・検査受託におけるプラットフォーム開発
- 【URL】 <https://www.salivatech.co.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

株式会社サリバテック 広報事務局

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 E-mail：pr@netamoto.co.jp

担当：小室（携帯：090-5537-8309）

担当：杉村（携帯：070-1389-0175）